

-CAR-T 細胞療法について (患者様へ)-

造血器腫瘍に対する主な治療法として、抗がん剤治療 (化学療法)・放射線治療・造血幹細胞移植治療がよく知られています。造血器腫瘍は、進行した腫瘍であったとしても治癒する可能性が高いことが大きな特徴の 1 つではありますが、やはり再発難治例も多く経験されます。その中で、この 15 年ほどで新たに開発されてきた免疫療法に注目が集まるようになりました。特に、成分採血装置を用いて患者様からリンパ球を採取したあと、キメラ抗原受容体 (CAR: Chimeric Antigen Receptor) とよばれる人工的な遺伝子を T 細胞に導入して CAR-T 細胞を作製し、患者様に輸注 (点滴投与) して造血器腫瘍を免疫学的に治療する **CAR-T 細胞療法** (再生医療等製品) がその代表として挙げられます (下図)。国内でも、再発難治性 B 細胞急性リンパ性白血病、B 細胞悪性リンパ腫や多発性骨髄腫などへの治療適応が進んでおり、病状にもよりますが、再発難治例の約半数の患者様において治療効果が期待できるようになってきています。

患者様におかれましては、CAR-T 細胞療法を受けられるかどうかにつきまして、**まずは主治医の先生にご相談**くださいますと幸いです。

【CAR-T 細胞療法で行われる治療の流れ】

